

### 「自分たちで考えながら練習」……ジュニアファイブ



わたしたちジュニアファイブはミニバスケットボールのスポーツ少年団です。男子24人、女子24人の計48人で、火・水・土・日曜日の2〜3時間、神宮寺小学校・玉造小学校・美郷台小学校の体育館で男女コート1面ずつを使って練習しています。ことは男女ともに夏の県大会で優勝し関東大会に出場、男子は関東大会でも優勝し、市民表彰を受けました。

試合に臨む際に工夫していることは、相手チームをしっかり分析し、自分たちの特徴を生かして相手に勝つための対策を考えて、練習することです。

一例として、自分たちよりも背が高く体格が良いチームと対戦した試合がありました。そこで、体のぶつかり合いでは勝つことが難しくても、自分たちの持ち味であるパスワークや攻守の切り替えのスピードで上回ることを、相手選手とは接触しないよう距離のあるシユートを決めることなどの重点的に行う練習を考えました。自分たちで決めた練習に取り組んだ結果、勝利につなげることができたのだと思います。

また、相手チームへの対策のほかにも、自分たちが強化すべき部分を探るために、いろいろな種類の練習をこなします。練習内容が変わるときには意識を早く切り替えて無駄な時間を作らないように心掛けています。

次の目標は、秋の関東大会に出場することはもちろん、男女ダブルで優勝すること。これが

らも選手・コーチ・保護者で協力しながら練習に取り組んでいきます。



ディフェンスをかわしてシュート



河崎 海南 女子キャプテン(6年生)

課題を持つことを大切にしています。女子チームの今の課題は反則を減らすことなので、試合中は常に意識しています。



岡戸 幸輝 男子キャプテン(6年生)

チームが負けているときは冷静になるように心掛け、「諦めるな」「しっかりやろう」など周りに声を掛けています。

「食べてくれる人を笑顔に」

わたしたち「なりた蕎麦の会」は、毎月第2・4土曜日に中央公民館でそば打ちを楽しんでいるサークルです。

家族や友人、近所の人など周りの人たちに食べてもらって喜ばれるそばを打てるように、そば打ちの技術を磨いています。

技術を向上させるため、全国麺類文化地域間交流推進協議会(全麵協)が認定する段位の取得を目指しています。段位は初段から5段まであり、全ての段の認定会で、技能審査が行われます。審査では、服装、姿勢、手際の良さ、完成品の見栄え、衛生面への配慮などの項目がチェックされます。

多くのメンバーが取得を目指している初段では、約7人前の分量の水回し・こね・のし・切り作業を40分間で行うため、時間との勝負になります。9月に行われた審査会の対策として、8月からは時間を計り、ペース配分を頭に入れ



集中力を高めて



切り幅が均一かチェック



打つのも、食べるのも、そばが大好きです

なりた蕎麦の会

ながら練習しました。

また、活動の一環として、そば打ちを通したボランティアにも取り組んでいます。小中学校や高校、老人福祉施設などを訪れて、打ち方を教えて実際に体験してもらったり、食べてもらったりしています。大勢の人の前でそばを打つのは緊張しますが、食べた人に「おいしい」と言われるととてもうれしいです。

多くの人においしいそばを食べて喜んでもらえるよう、これからも練習を重ねます。



石橋 里奈ちゃん(5歳・左)新妻  
大木 七花ちゃん(4歳・右)赤荻

仲良しの2人♥ダンスの練習をしています♪夢はヒップホップダンサーかな!?



あきひろ  
神野 暁広くん(1歳)押畑

いつも元気で明るい子。



たつき  
加瀬 辰樹くん(2歳・左)加良部  
りょうま  
稜真くん(8カ月・右)

イヤイヤ真っ盛りのお兄ちゃんとズリズリ動きだした弟です。

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503